

ConforMeeting/e 導入事例

栗田工業株式会社 様

コロナ禍、役員会議の“リモート率100%”を達成 迅速なテレワーク対応を実現し、事業継続に貢献



栗田工業株式会社
社長室経営企画部
計画課
秋山 健太郎 氏



栗田工業株式会社
社長室経営企画部
企画課
坂本 匡平 氏

事例のポイント

課題背景

- 役員会議における紙資料の準備が、事務局側の大きな負担になっていた
- 資料閲覧の場所と時間が制約されていたため、関係者に対してタイムリーな情報提供ができない場合があった
- ファイル数冊分の過去資料を会議のたびに用意、会議中の参照にも時間がかかっていた

成果

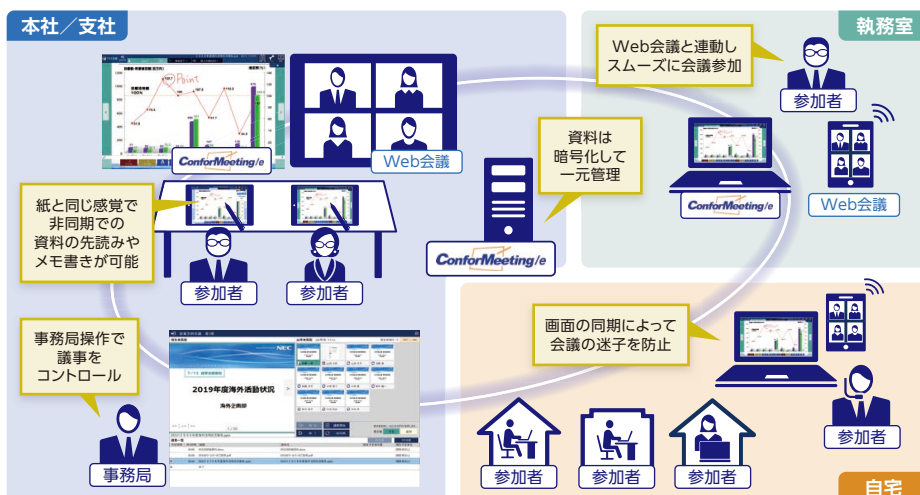
- 紙資料をペーパーレス化したことで、会議準備の手間を減らし、事務局負担を軽減
役員会議における資料を電子化し、準備にかかっていた手間と時間を大幅に軽減。急な資料の差し替えにも柔軟かつ迅速に対応できるようになった
- 全参加者が社外からセキュアに資料を閲覧できる環境を実現
過去分を含めた会議資料の電子化と端末にデータを残さないセキュアな共有環境で、場所と時間の制約を受けずに資料を参照、事前準備の時間が確保でき、会議の活発化にもつながった
- コロナ禍によるテレワーク環境にも、スムーズに対応でき、事業継続にも貢献
コロナ禍でも、役員会議を迅速にリモート化でき安定した会議運営と安全の両立を図ることが可能に。事務局メンバーの出勤日数減にもつながり、社員家族の安心感向上にも寄与



社 名：栗田工業株式会社
本社所在地：東京都中野区中野4丁目10番1号 中野
セントラルパークイースト
設 立：1949年7月13日
資 本 金：13,450,751,434円
代 表 者：代表取締役社長 門田 道也
従業員数：7,465名(連結) 1,561名(単体)
(2021年3月31日現在)
事業内容：水処理薬品、水処理装置およびメンテ
ナンスサービスの商品・技術、ソリュー
ションの提供など。
U R L：https://www.kurita.co.jp/index.html



導入ソリューション



ペーパーレス役員会議システム「ConforMeeting/e」により、役員会議における紙資料を電子化。事務局メンバーの資料準備の負担を軽減した他、会議参加者が資料を閲覧する際の場所や時間の制約をなくし、資料理解を深めることに貢献。遠隔からの役員会議参加を可能にするシステムを構築していたことで、コロナ禍におけるテレワーク環境対応にも寄与した。

導入前の背景や課題

役員会議の膨大な紙資料が 役員、事務局、双方の大きな負担に

1949年の創業以来、一貫して「水と環境」の分野で事業を展開してきた栗田工業様。水処理薬品、水処理装置、メンテナンス・サービスの3つの事業領域を併せ持つ水処理専門の企業として、社会課題の解決を通じ社会との共通価値を創造し、持続可能な社会の実現を目指しています。同社では、業務効率化の取り組みや働き方改革を進めていますが、その中で、定期的開催される役員会議の「膨

大な紙の資料」が大きな「壁」となっていました。会議の事務局運営に携わっていた社長室経営企画部計画課の秋山健太郎氏は、当時の状況を次のように説明します。「10名ほどの参加メンバーに対して、印刷した資料を数日前に配布するのですが、議事が重なるると多い時には100ページを超え、辞書のような厚みになりました。持ち運びに不便だけでなく、機密資料が掲載された資料は社外への持ち出しが禁止されていたため、出張などで受け取りが遅れた役員が、会議前日に役員室で夜遅くまで資料を読み込むといったことがしばしば起こっていました」

また事務局側にとっても、「配布資料の締め切り日が近くと、印刷用に半日程度コピー機を占領していた」など、資料の準備が大きな負担になっていたと言います。さらに役員会議の際には、事務局側で過去の会議資料を用意する必要がありましたが、その分量はファイル数冊分。過去の議題に話が及ぶと、その中から該当する箇所を探し出す必要がありました。こうした状況を改善するため同社では2016年、役員会議の資料を電子化・ペーパーレス化する方法を模索し始めました。

選択のポイント

採用の決め手は、 「会議資料を表示するスピードと 高いセキュリティの両立」

複数のシステムを検討した結果、栗田工業様が選んだのは、NECのペーパーレス役員会議システム「ConforMeeting/e」でした。

「ConforMeeting/e」では、タブレット端末上で資料を閲覧でき、メモ書き、先読み、戻り読みしながら、資料内容を理解し、議論を活性化することができます。こうした会議参加者向けの機能に加え、秋山氏は、資料の差し替えが瞬時にできるなど事務局側の負担を減らせ、さらに「会議の進行を支える仕組み」が搭載されていること

も採用の決め手になったと言います。

「例えば、発表者が操作に不慣れで、会議がストップしてしまっても、議事進行コンソールを使い、事務局側から進行を補助できるため、会議の質を落とさず、安心して会議に臨めると感じました」

さらに過去資料を参照できる「キャビネット機能」があることも、大きなポイントになったと秋山氏。

「この機能により、過去の会議資料も参照できます。過去の議論に話が及んだときにも、その資料を端末上で確認できるため、膨大な過去の資料を持ち込む作業が不要となります」

当時情報システム部門に所属し、複数の製品を試した

坂本匡平氏（現在：社長室経営企画部企画課）は、会議資料を表示するスピードと高いセキュリティ環境が担保された仕組みが印象に残ったと説明します。

「いろいろ製品を調べていくと、複数メンバーで資料を共有する方法として、主に画面の画像データを転送する方式と、データ自体を端末側に送る方式に分かれていました。画像を転送するだけだと、遅延が発生します。しかしデータを転送してしまうと、端末にデータが残るのでセキュリティ的に問題です。「ConforMeeting/e」は、その2つを巧く組み合わせていました。遅延はないが、データも端末に残らない。この仕組みが強く印象に残り、「ConforMeeting/e」を推薦させていただきました」

導入後の成果

コロナ禍、リモート率100%を達成 社員の家族の安心度向上にも貢献

同社では「ConforMeeting/e」を2017年4月から導入。月に3度開催される役員会議で活用してきました。そんな中、2020年に新型コロナウイルスの感染拡大が発生し、対面で会議を行うことが難しい状況に。しかし「ConforMeeting/e」を導入していたため、「スムーズにリモート開催に切り替えられた」と、坂本氏は導入効果を説明します。

「当社では、新型コロナウイルス感染拡大の第一波が襲ってきたタイミングで、すぐに役員会議をリモート開催に切り替えることができました。音声・映像はマイクロソフト社のオンライン会議システムで共有し、会議資料の配付・共有に関してはセキュリティが担保される『ConforMeeting/e』を併用することで、滞りなくリモート

対応できたのです。昨年2月以降は対面での役員会議は実施しておらず、株主総会後の会議を除きリモート率は100%を達成しています。『ConforMeeting/e』を導入していなければ、ここまでスムーズにリモートによる役員会議への移行は実施できなかったと思います。当社の機密情報保持のルールでは、役員会議の資料を端末に配付することは基本的には禁止されています。そのため、ルール変更とセキュアな資料配布手段を確立するまでは、従来通り、機密情報の資料は紙でやり取りせざるを得ず、役員は月に数回出社して資料を閲覧し、議論する形になっただろうと想像しています」

一方、秋山氏は、「ConforMeeting/e」の導入により、事務局メンバーもリモート環境での業務対応が可能となり、安全・安心に仕事が続けられていると言います。

「事務局には若い社員が多く、新婚や小さな子どもがいる人も多い。そうしたメンバーもテレワークを継続できていま

す。メンバーの出勤が減り安全が確保されることで、家族の満足度、安心感の向上にも大きく寄与していると思います」

「従来は役員会議が月に3度あり、一回の会議の準備で2、3日は出社していたので、ConforMeeting/eが導入されていなければ、会議対応で月に5、6日は出社する必要があったと考えます。それがゼロになったのですから、非常に大きな効果を感じています」（坂本氏）

現在同社では、定例の役員会議だけでなく、他の会議でも「ConforMeeting/e」を活用しています。「ただし、まだ海外事業会社との会議では活用できていない」とし、坂本氏は今後の展望を次のように話してくれました。

「海外事業会社との会議では、このシステムを導入しておらず、PDFなどで資料を配布する状況が続いています。ここにもセキュリティリスクがあります。『ConforMeeting/e』を使えば、このような課題も解決できるのではと期待しています」

お問い合わせは、下記へ

NEC ファーストコンタクトセンター
ソフトウェアお問い合わせ窓口

TEL: 0120 (58) 0595

【受付時間】9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役員提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。